

職業実践専門課程の基本情報について

| | | | | | | |
|--------------|--|---|----------------|--|--|------------------|
| 学校名 | | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | |
| 長野美術専門学校 | | 昭和51年4月1日 | 小林 勝彦 | 〒380-0935 長野県長野市中御所1丁目10番10号 (電話) 026-227-3229 | | |
| 設置者名 | | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | |
| 学校法人クリエイティブA | | 平成7年10月31日 | 理事長 小林 勝彦 | 〒380-0935 長野県長野市中御所1丁目10番10号 (電話) 026-227-3229 | | |
| 目的 | | 実践的な専門教育により、視覚伝達に関わるデザイン業に必要な知識・技術・技能を育成し、社会に有用な職業人を輩出する。 | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 修業年限 (昼、夜別) | 全課程に修了に 必要な総授業時数 又は総単位数 | 専門士の付与 | 高度専門士の付与 |
| 文化・教養 | 職業実践専門課程 | ビジュアルデザイン科 2年制 | 2年 (昼) | 1700単位時間 (62単位) | 平成22年文部科学大臣告示 第153号 | — |
| 教育課程 | | 講義・演習 | | 実験 | 実習 | 実技 |
| | | 528単位時間 33単位 | | — | — | 1680単位時間 56単位 |
| 生徒総定員 | | 生徒実員 | | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 |
| 80名 | | 65名 | | 7名 | 16名 | 23名 |
| 学期制度 | <ul style="list-style-type: none"> ■前期 4月1日～9月30日 ■後期 10月1日～3月31日 | | | 成績評価 | <ul style="list-style-type: none"> ■成績表 有 ■成績評価の基準・方法について 1 学修評価時に出席日数においては、おおむね2/3以上の出席を目安とする。 2 単位修得の認定及び成績の評価は、試験又はこれに代わるべき方法によるものとする。これに代わるべき方法の部分は成果物。実技系=課題作品。講義系=レポート等。 3 各授業科目の成績は、優、良、可、不可に分け、優、良、可を合格とする。 | |
| 長期休み | <p>平成29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ■夏期休業 7月3日～8月25日 ※夏期授業期間と称し、この期間に行う科目もある。 履修する科目により、休業期間は異なる。 ■冬期休業 12月20日～1月3日 ■春期休業 3月12日～4月6日 | | | 卒業・進級条件 | <p>2年以上の在籍期間。 本校の履修規定に従って履修登録をし、1700単位時間及び62単位を修得した者に対し、学校長が認定する。</p> | |
| 生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制 無 ■長期欠席者への指導等の対応 修学状況について問題のある学生は、定例で行われる職員会議において、教務から現状報告がなされ、必要とあれば面談を行う。状況の改善が見られない場合は、学生の保護者(保証人)宛に文書で報告し、希望により保護者面談を行う等の対応をしている。 | | | 課外活動 | <p>課外に学生組織「美専学生会」を設け、主体的な活動を奨励支援している。地域社会等からの学生活動要請には担当教員を配し、支援を行なっている。</p> | |
| 主な就職先 | <ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界 デザイン会社/広告代理店/写真スタジオ/印刷会社 看板製作/一般企業の販売促進部及び制作部/ほか ■就職率 88.8% ■卒業者に占める就職者の割合 72.7% (平成28年度卒業者に関する平成29年4月時点の情報) | | | 主な資格・検定 | <ul style="list-style-type: none"> ■レタリング検定/公益財団法人国際文化カレッジ ■ビジネス能力検定/財団法人専修学校教育振興協会 ■色彩士検定/全国美術デザイン教育振興会 ■日本語検定/特定非営利活動法人日本語検定委員会 ■Illustratorクリエイター能力認定試験/サードパーティ認定試験事務局 ■Photoshopクリエイター能力認定試験/サードパーティ認定試験事務局 ■フォトマスター検定/公益財団法人国際文化カレッジ | |
| 中途退学者の現状 | <ul style="list-style-type: none"> ■中途退学者 1名 ■中退率 2.5% 平成28年4月1日在学者 38名(平成28年4月入学者を含む) 平成29年3月31日在学者 37名(平成29年3月卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学業不振 ■中退防止のための取組 教務において担当教諭が、就学にあたっての問題を拾いあげ、解決をサポートすることで退学防止に努めている。 また、科目担当教師と連携し、本人対処や家庭対処への取組の検討を組織的に行っている。 | | | | | |
| ホームページ | URL http://www.n-bisen.ac.jp | | | | | |

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、地域を中心としたこれからの産業界に求められる実践的な専門能力を育成していくために、専門分野の人材の輩出先の関連業界からの人材育成の要請や、意見及び授業協力などによる連携した教育活動の実施計画をふまえ、教育内容を研究し、適切に開設された授業科目を配列する。
また開設、編成された授業及び課程の改善を図るため、授業科目についての評価及び教育の成果の検証等について、連携企業等の協力により、恒常的に行うものとする。

教育課程編成委員会 委員名簿

平成29年7月1日現在

| 役職名 | 氏名 | 選任区分 | 所属 |
|-----|--------|--------------|-----------------|
| | | 委員会規則 第4条 | |
| 委員長 | 小林 勝彦 | 4号 | 長野美術専門学校 |
| 委員 | 辻 圭介 | 1号 | 長野県デザイン振興協会 |
| 委員 | 轟 久志 | 1号 | 長野県デザイン振興協会 |
| 委員 | 大久保 清一 | 3号 | 有限会社サンライズ |
| 委員 | 戸田 良久 | 3号 | 有限会社長野デザインセンター |
| 委員 | 寺島 克己 | 3号 | クリエイティブファクト株式会社 |
| 委員 | 中村 武志 | 3号 | 有限会社アドフォート・トリム |
| 委員 | 松本 直樹 | 5号 | 長野美術専門学校 |
| 委員 | 塚田 佳子 | 5号 | 長野美術専門学校 |

(開催日時)

第1回 平成29年11月開催予定

第2回 平成30年2月開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校における企業等との連携による実習・演習は、専攻分野に関する専門性（以下、専門性）がいかにか職業に活かされ、実社会と関連しているかを学び、これからの社会に有用な専門的知識、技術・技能を実践的に育成するものである。
連携する企業等は専門性の発動をもって実際に社会と関わる職業体とし、専門的な職業人の育成に社会的利益を見出すことを重んじる職業体とする。

| 授業科目名等 | 科目概要 | 連携企業等 |
|-------------|---|---|
| キャリア講座A | 個人、グループ、全体で行うワークショップを通して、自己を探求します。講義だけでなく体を動かすワークショップも実施します。インターンシップでは働く姿から仕事に対する姿勢を学び実践します。自己を見つめ、ふりかえり、学びに対する目的を確認し、将来のビジョンの創造性につなげることを目標とします。 | クリエイティブファクト株式会社 |
| プロジェクト考察 | 企業からの講師派遣による授業です。毎回、講義形式で授業を行います。授業では実際に取り組みされたさまざまなプロジェクトを紹介し、どのようにクリエイティブが発動されたのかを考え、活動の目的や意義を掘り下げていきます。また具体的な事例から組織的な協働について学びます。 | クリエイティブファクト株式会社 |
| プロジェクトワーク演習 | 架空のクライアントからの依頼を受け、それを元に組織的に企画案をつくってみます。クライアントに提案（プレゼンテーション）することを通し、リサーチの仕方や案件に対する気遣いなどを具体的に学びます。授業内では必要に応じ、ゲスト講師をお招きします。 | クリエイティブファクト株式会社 |
| DTP理論 | クリエイター認定試験へ向けて、IllustratorとPhotoshopを使って実践的な作業を学びます。PDFの知識も学びます。クリエイター認定試験での資格取得を目指します。長野県デザイン振興協会との連携学習をおこないます。 | 長野県デザイン振興協会 |
| アニメ動画表現 | 企業からの講師派遣による授業です。企画から制作までの映像制作の流れを理解するために、各分野の講師陣をゲストにお呼びし、様々な映像事例を見たり、制作実習・現場実習をおおして、実際の映像業界の仕組みや制作工程を経験する。 | 有限会社アドフォート・トリム |
| 写真表現 | <デジタルワーク> デジタルカメラによるスタジオ撮影。オンラインサービスを利用したデジタルアルバム制作。夏期授業期間中、各自夏をテーマにした風景写真撮影。 <アナログワーク> モノクロフィルムでの撮影、現像、暗室での作業。ギャラリーを借りての写真展開催。フォトマスター検定試験(11月)過去問題集を参考とし3級以上合格を目指す。 | ダンク セキ株式会社 |
| 6次デザイン | 企業からの講師派遣による授業です。須高地域（須坂市、小布施町、高山村）と連携し、現存する問題点とクリエイティブによる解決策を考えます。まずは4月に長野駅で開催される観光PRイベントに参加し、ワークショップやアンケートなどを通して調査・研究します。その後、企画・デザイン案を制作してそれを実施することでクリエイターとしての実践的な力を身につけます。 | 長野県デザイン振興協会 須坂市観光協会 |
| キャリアアップ実習 | このインターンシップでは夏期授業期間に約1ヶ月間都会生活をしながら職場実習を行います。インターン先は東京銀座にある「日本デザインセンター」。日本有数の産業を営むクライアントとの深い関わりを持ちながら、我が国にデザイン文化を打ち立ててきた日本最大級のデザインプロダクションです。長野美術専門学校では学校長が出身者であり、特別講師の上原昌先生の活躍も往年の同社の業績を支えてきました。このような縁からインターン生の受け入れを承諾いただくことが出来たので、全学科全学年から選択希望を受け付けます。希望した学生の中から選考して2名がこのインターンシップに参加できます。「原研哉」をはじめとした、日本をリードする数多くのデザイナーと一緒に職場で実習しましょう。株式会社日本デザインセンターとの連携学習を行います。 | 株式会社日本デザインセンター |
| ライン別ゼミ | 1年次、2年次合同によるゼミ編成のもと、総合制作における制作物の完成を前提とした実技演習を中心とした学びを行う。各ゼミにおける授業スケジュールは、ラインごとの専門性によって異なります。 | クリエイティブファクト株式会社 有限会社アドフォート・トリム 長野県デザイン振興協会 長野県 NPO法人 長野国際友好協会 |
| イラストレーション | 明確な制作物の設定をすることでイラストの意識を高めます。幅広く考える力をつけ、自分らしい表現方法を確立していきます。 | 長野赤十字病院 |

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

長野美術専門学校教職員研修規則に定める教員研修は、専攻分野の専門性の学びについて、学生の就職先などの進路への通用性や分野動向への対応性、及び職業人として求められる人間力を教員自身が調べ学び、企業等の人材需要に応じていくために企業等との連携により実践性を踏まえて行なう。

また職業人育成のための教育的知識・指導力を高める目的で、本校の教育活動に適した教育理論や技術の研修を行なう。

研修の取り組みにあたっては、教科運営を行なう立場から教務がこれらの目的を賄う成果をあげるため、教科会、主任会、職員会等に働きかけ学校全体としての活動となるよう先導するものとする。

4. 学校関係者評価

学校関係者評価委員会の委員の名簿

平成29年7月1日現在

| 役職名 | 氏名 | 選任区分 | 所 属 |
|-----|-------|--------------|--------------|
| | | 委員会規則 第4条 | |
| 委員 | 松井秀夫 | 1号 | NPO法人夢のデザイン塾 |
| 委員 | 大久保清一 | 2号 | 有限会社サンライズ |
| 委員 | 基井照明 | 2号 | 株式会社日商印刷 |
| 委員 | 村澤優子 | 4号 | 平成29年度在校生保護者 |
| 委員 | 宮澤理恵 | 5号 | 平成20年度卒業生 |
| 委員 | 和田邦彦 | 6号 | 長野県松代高等学校 |

(学校関係者評価結果の公表方法)

学校関係者評価の公表は次のように行う

方 法 ホームページにて公表 <http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/>

時 期 自己点検評価 平成29年10月末

学校関係者評価 平成29年12月末

5. 情報提供

(情報提供の方法)

- ・ ホームページへ公開 <http://www.n-bisen.ac.jp>

授業科目等の概要

<文化教養専門課程 職業実践専門課程 ビジュアルデザイン科2年制> 平成29年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
|----|------|------|----------|---|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| ○ | | | キャリア講座A | 個人、グループ、全体で行うワークショップを通して、自己を探求します。講義だけでなく体を動かすワークショップも実施します。インターンシップでは働く姿から仕事に対する姿勢を学び実践します。自己を見つめ、ふりかえり、学びに対する目的を確認し、将来のビジョンの創造性につなげることを目標とします。 | 1・前・後 | 48 | 3 | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ |
| ○ | | | キャリア講座B | 個人、グループ、全体で行うワークショップを通して、目的のために協働することを身につけます。講義だけでなく、体を動かすワークショップも実施します。また、自己のビジョンを創造する機会として、インターンシップを行いません。より広い社会に関わることができる自己を発見することを目標とします。 | 2・前・後 | 48 | 3 | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ |
| ○ | | | プロジェクト考察 | 企業からの講師派遣による授業です。毎回、講義形式で授業を行います。授業では実際に取り組まれたさまざまなプロジェクトを紹介し、どのようにクリエイティブが発動されたのかを考え、活動の目的や意義を掘り下げていきます。また具体的な事例から組織的な協働について学びます。 | 2・前 | 16 | 1 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| | | ○ | アート研究 | 毎回、各時代の名作といわれる美術作品の中から数点をピックアップしその主題や歴史的な流れ、技法やコンセプトなどといった基本的な鑑賞ポイントを一緒に確認していきます。講義で取り上げる作品は美術検定3級に基づき美術検定3級の取得をめざします。美術作品の読み解き方を学び、観察眼を鍛えることで、「アートを鑑賞する」という枠組みをこえて、自分自身の制作を進める上でも重要な能力となるでしょう。 | 2・後 | 16 | 1 | ○ | △ | | ○ | | ○ | | |
| | ○ | | 美術学習論 | 「デザイン」「アート」を身体と五感を駆使して一次体験することで、美術教育を解釈し美術の学びの理解へとつなげます。課題の講評では各人のプロセスに着目し、どのような学びを得たかを評価します。幼い頃に誰もが行ってきた(であろう)一次体験を「デザイン」「アート」を通してもう一度ここで自覚的に経験することで見識を深め、自分の個性の発見・開発をすすめる手がかりとなることを目指します。 | 1・前 | 16 | 1 | ○ | △ | | ○ | | ○ | ○ | |
| | | ○ | 美術学習論特講A | 長野美術専門学校付帯事業である「ながのこども美術学校」のこども美術の授業で、ながのこども美術学校のスタッフとして受講します。こどもたちとの触れ合いや送迎時における保護者の方との関わり、スタッフ同士や講師との連絡によって、社会性、コミュニケーション力を養います。各クラスの講座内容を学生自身も体験することにより、美術教育の意義を体得します。講座前後30分を設営準備、後片付けの時間とし、計3時間の授業となります。設営準備では当日の内容確認ミーティングを、後片付けでは当日の反省会等を毎回行ない、講師とスタッフ間の連携を大切にすることにより、スタッフとして講座運営を円滑にするための学びも経験できます。 | 1・前・後 | 64 | 4 | ○ | △ | | ○ | | ○ | ○ | |
| | | ○ | 美術学習論特講B | 長野美術専門学校付帯事業である「ながのこども美術学校」のこども美術の授業で、ながのこども美術学校のスタッフとして受講します。こどもたちとの触れ合いや送迎時における保護者の方との関わり、スタッフ同士や講師との連絡によって、社会性、コミュニケーション力を養います。各クラスの講座内容を学生自身も体験することにより、美術教育の意義を体得します。講座前後30分を設営準備、後片付けの時間とし、計3時間の授業となります。設営準備では当日の内容確認ミーティングを、後片付けでは当日の反省会等を毎回行ない、講師とスタッフ間の連携を大切にすることにより、スタッフとして講座運営を円滑にするための学びも経験できます。 | 2・前・後 | 64 | 4 | ○ | △ | | ○ | | ○ | ○ | |
| | | ○ | DTP理論 | クリエイター認定試験へ向けて、IllustratorとPhotoshopを使って実践的な作業を学びます。PDFの知識も学びます。クリエイター認定試験での資格取得を目指します。長野県デザイン振興協会との連携学習をおこないます。 | 2・前・後 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |

授業科目等の概要

<文化教養専門課程 職業実践専門課程 ビジュアルデザイン科2年制> 平成29年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
|----|------|------|---------------|---|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| ○ | | | 色彩 | プロのデザイナーやアーティストは、正しい理論の裏付けを持って色彩に携わることが必要です。色彩論については主に近代からこれまで、化学的な面、生理学的な面、心理学的な面からの学問が進み、それぞれが関連しあう体系が確立されてきました。この授業では、日本色彩研究所の研究に基づいて行われている「ADEC色彩士検定」の教材を用い、色が知覚されるしくみから色彩調和に必要な配色技法までを講義と演習により学びます。ADEC色彩士検定3級相当の基礎知識を理論の習得、ADEC色彩士検定3級取得を目指します。 | 1・前 | 16 | 1 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | ○ |
| | ○ | 条 | 映像理論 | 映画史概要と映像制作の流れから始めて映像表現のための基礎知識と基本的な手法を学びます。 | 2・前・後 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | クリエイティブワーク総論A | 毎回異なる本校の教員や外部講師を約月1回のペースでゲストに呼び、自身の職業やこれまでのキャリアについてのプレゼンテーションを受けます。そのことで、自分自身が履修している科目が何のために必要なのか、将来どのように結びついていくのかを考え、クリエイティブの学びの理解を深めます。 | 1・前・後 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | | クリエイティブワーク総論B | 毎回異なる本校の教員や外部講師を約月1回のペースでゲストに呼び、自身の職業やこれまでのキャリアについてのプレゼンテーションを受けます。そのことで、自分自身が履修している科目が何のために必要なのか、将来どのように結びついていくのかを考え、クリエイティブの学びの理解を深めます。 | 2・前・後 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | | ○ | ○ | |
| | | ○ | ディスプレイデザインA | 情報化時代と言われる現代社会では、流通経路を的確に築きあげ、効果的な情報を与え、その時代の流れに乗ったイメージ操作と消費者の心をとらえる販売活動が行われない限り商品は売れるものではありません。商品を展開する売り場空間の活性化を図る為、単に「きれいに物(商品)を並べる」ということではなく、幅広い知識と造形力、感性、時代情報が必要となります。本科目では、テキストや実際の仕事の資料を使用し、売り場づくりの基礎知識を学びます。また、ラッピングペーパー等の演出テクニック、外に出るVMDマップ(ショップリサーチ)や、卓上で簡単なディスプレイを実施し、それに沿った「演出計画書」を制作します。こうした講義と演習を通して、専門の知識、技術、アイデア、デザイン、クリエイティブの総合的な力をつけたプロデュースの出来る人材育成をめざします。 | 2・後 | 32 | 2 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | WEB理論 | 書籍「新米IT担当者のためのWebサイトしくみ・構築・運営がしっかりわかる本」を基となる情報とします。学生の進み具合をチェックして、秩序立った勉強ができる「チェックシート」に読んだページごとにサインしてもらい、知識を得たという確信を深めてもらいます。エッセイ、課題などを毎回提出してもらい、学生の自発的な興味を促します。場合により、パソコンで実際の画面を見たり、講師の制作物などで説明をします。基本的には各学生それぞれに対して必要と思われるレクチャーをそれぞれに対して行います。 | 2・後 | 16 | 1 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | |
| | | ○ | キャラクター概論 | キャラクターというものがどう世間に浸透し、使われているか、それぞれの役割を学生からの意見を主に検証する。後半では、前半の授業内容を受けて班ごとにオリジナルのゆるキャラ(ご当地キャラ)を制作する。人気投票も検討。 | 1・後 | 16 | 1 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | |

授業科目等の概要

<文化教養専門課程 職業実践専門課程 ビジュアルデザイン科2年制> 平成29年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 | |
|----|------|------|---------------|--|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|--|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | | |
| | | ○ | モーショングラフィックス | Aftereffectsを使いながら、モーショングラフィックスの様々な映像表現を知り学びます。アニメーションやエフェクト・カメラワークなど、それを用いることで一体どんな表現ができるのか作品を見たり実際にソフトを触りながら体験します。また授業ではゲスト講師をお呼びしその制作物なども鑑賞します。 | 2・後 | 16 | 1 | ○ | △ | | ○ | | ○ | ○ | | |
| | | ○ | マンガ概論 | マンガの手法を演習し、その成果物をディスカッションします。また自身が感じる魅力的なマンガを観察、洞察、プレゼンテーションすることで、より造詣を深めます。 | 1・前 | 16 | 1 | ○ | △ | | ○ | | | | ○ | |
| | | ○ | ビジネスデザイン | 一般にデザインワークというと、審美的な見た目の美しさや奇抜さなどに重点が置かれがちです。しかし、それ以前にデザインワークは機能的でなければなりません。本授業では、主にWordやExcelなどのビジネスソフトを使った演習をとおし、ビジネス文書や企画書の制作法を学びます。こうした各文書の作成法、つまり情報の整理術や情報を正しく伝える作法といった学びから、イベントの立案力の獲得をめざします。 | 1・前 | 16 | 1 | ○ | △ | | ○ | | | ○ | | |
| ○ | | | グラフィックデザイン基礎A | レタリングでデザインの造形基礎力を学びます。基本書体の明朝体とゴシック体を鉛筆の手描きでお手本通りに形成するレタリングを繰り返していきます。また文字の骨組みである字体を速く、正しく描く練習も重ねて行います。後半では板名交じりロコタイプや英字ロコタイプの制作に取り組みます。レタリング検定3級取得を目指します。 | 1・前 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | ○ | | |
| ○ | | | グラフィックデザイン基礎B | IllustratorとPhotoshopの基本機能習得とDTPデータの作り方の知識を学び、印刷物のデータを作成できるまでのスキルを身につける。 | 1・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | ○ | グラフィックデザイン基礎C | 文字組の概念(大きさ、書体、行間など)を学び、視覚的に伝えることで意識したレイアウト演習を行います。 | 1・後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | | ○ | |
| ○ | | | ビジュアル表現 | 視覚造形の基礎を学びながら、個性的な発想・個性的な表現を誘導していきます。授業では、紙と筆記用具をベースに実際に手を動かすことを重視し創作していきます。各授業のはじめには発想トレーニングをします。 | 1・前 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | | ○ | |
| ○ | | | デッサン | デッサンは様々な造形表現の基本的な演習です。まずは透視図法を理解し、かたちが正確に描けること。そしてどうしたら立体感が出せるか、平面の上に鉛筆を使って、三次元の空間を再現することをします。 | 1・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | | ○ | |

授業科目等の概要

<文化教養専門課程 職業実践専門課程 ビジュアルデザイン科2年制> 平成29年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 | |
|----|------|------|-------------|--|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|---|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | | |
| ○ | | | プロジェクトワーク演習 | 架空のクライアントからの依頼を受け、それを元に組織的に企画案をつくってみます。クライアントに提案(プレゼンテーション)することを通し、リサーチの仕方や案件に対する気遣いなどを具体的に学びます。授業内では必要に応じ、ゲスト講師をお招きします。 | 2・前 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | |
| | | ○ | グラフィックデザイン | 商品ロゴ・パッケージ制作→広告制作と、一連のビジュアルデザインの演習を行います。 | 2・前 | 60 | 2 | | | | ○ | | | | ○ | |
| | | ○ | アニメ動画表現 | 企画から制作までの映像制作の流れを理解するために、各分野の講師陣をゲストにお呼びし、様々な映像事例を見たり、制作実習・現場実習をとおして、実際の映像業界の仕組みや制作工程を経験する。 | 2・前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | | ○ | 6次デザイン | 須高地域(須崎市、小布施町、高山村)と連携し、現存する問題点とクリエイティブによる解決策を考えます。まずは4月に長野駅で開催される観光PRイベントに参加し、ワークショップやアンケートなどを通じて調査・研究します。その後、企画・デザイナー案を制作してそれを実施することでクリエイターとしての実践的な力を身につけます。 | 2・前 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | | ○ | 写真表現 | 本授業はデジタルワークとアナログワークの2本立てとなります。 デジタルワーク: デジタルカメラによるスタジオ撮影と、オンラインサービスを利用したデジタルアルバム制作を行います。 アナログワーク: モノクロフィルムでの撮影、現像、暗室での作業を行います。 6/22～29には写真展(予定・会場未定)にて、モノクロ写真数点とデジタルアルバムの展示をします。授業期間内にDMなどの制作も行います。フォトマスター検定試験(11月)過去問題集を参考とし、3級以上合格を目指します。 | 2・前 | 30 | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | | ○ | イラストレーション | 明確な制作物の設定をすることでイラストの意識を高めます。 幅広く考える力をつけ、自分らしい表現方法を確立していきます。 | 2・前 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | | ○ | |
| ○ | | | ライン別ゼミA | 1年次、2年次合同によるゼミ編成のもと、総合制作における制作物の完成を前提とした実技演習を中心とした学びを行う。 各ゼミにおける授業スケジュールは、ラインごとの専門性によって異なります。 | 1・後 | 150 | 5 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | | | ライン別ゼミB | 1年次、2年次合同によるゼミ編成のもと、総合制作における制作物の完成を前提とした実技演習を中心とした学びを行う。 各ゼミにおける授業スケジュールは、ラインごとの専門性によって異なります。 | 2・後 | 150 | 5 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

授業科目等の概要

<文化教養専門課程 職業実践専門課程 ビジュアルデザイン科2年制> 平成29年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
|----|------|------|-------------|---|---------|-----------------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| | | ○ | キャリアアップ実習 | このインターンシップでは夏期授業期間に約1ヶ月間都会生活をしながら職場実習を行います。インターン先は東京銀座にある「日本デザインセンター」。日本有数の産業を営むクライアントとの深い関わりを持ちながら、我が国にデザイン文化を打ち立ててきた日本最大級のデザインプロダクションです。 長野美術専門学校では学校長が出身者であり、特別講師の上原昌先生の活躍も往年の同社の業績を支えて来ました。このような縁からインターン生の受け入れを承諾いただくことが出来ましたので、全学科全学年から選択希望を受け付けます。希望した学生の中から選考して2名がこのインターンシップに参加できます。 「原研哉」をはじめとした、日本をリードする数多くのデザイナーと一緒に職場で実習しましょう。 | 2・前 | 150 | 5 | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ |
| | ○条 | | プロモーションワークA | 自分の制作物を伝える場である「美専展」の計画及び運営を行います。チームを作り、学生が協働して展示会を開催します。 | 1・後 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | ○条 | | プロモーションワークB | 自分の制作物を伝える場である「美専展」の計画及び運営を行います。チームを作り、学生が協働して展示会を開催します。 | 2・後 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ○ | | | 総合制作1 | 1年間の学びの集大成としての制作物に取り組みます。 「美専修学ライン」に沿い、VD科は「デザインライン」と「イラストレーションライン」の2つから選択し、出題されたテーマに基づき、アイデアを練りながら企画書を作成します。 この企画書を足掛かりとして制作をはじめます。必要によって講師に相談やサポートを要請し、自身の制作における問題解決の補助とします。 また、制作物は『学内展示』を前提とし制作を進め「合同講評会」では制作物についてプレゼンテーションを行います。 充実した制作期間となるよう主体的に取り組みます。 | 1・後 | 240 | 8 | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | | 総合制作2 | 2年間の学びの集大成としての制作物に取り組みます。 「美専修学ライン」に沿い、VD科は「デザインライン」、「映像ライン」、「イラストレーションライン」の3つから選択し、出題されたテーマに基づき、アイデアを練りながら企画書を作成します。 この企画書を足掛かりとして制作をはじめます。必要によって講師に相談やサポートを要請し、自身の制作における問題解決の補助とします。 また、制作物は『学内展示』を前提とし制作を進め「合同講評会」では制作物についてプレゼンテーションを行います。 充実した制作期間となるよう主体的に取り組みます。 | 2・後 | 240 | 8 | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | |
| 合計 | | | | | 36科目 | 2,208単位時間(89単位) | | | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | |
|---|----------|-----|
| 2年以上の在籍期間。 本校の履修規定に従って履修登録をし、1700単位時間及び62単位を修得したのに対し、学校長が卒業認定する。 | 1学年の学期区分 | 2期 |
| | 1学期の授業期間 | 20週 |